

### 様式③-1

平成30年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)：事業地区・箇所別概要(1)

#### 1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		林道事業	経ヶ峰線	
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班	電話番号
	100060	治山林道課	林道班	059-224-2574
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎)		市町字名
	40	津・久居	郡部 一般	津市 美里町、芸濃町
④事務事業名	林道事業費			
⑤基本事業名	持続可能な林業生産活動の推進			
⑥公共事業評価システムにおける分野名	山林の保全			

#### 2 事業の概要

事業の概要				
延長	14,000m		事業採択	1994年度
幅員	5.0m		事業着工	1995年度
			事業完了	2023年度
			供用開始	2024年度
			全体計画事業費(億円)	39.766
			全体計画工期(年数)	30年
事業の目的				
路網整備により効率的な森林整備を促進し、林業経営の合理化と農山村地域の振興を図ると共に、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させることを目的とする。				

#### 3 事業計画の進捗状況

評価実施年度	平成29年度	前回評価	
評価結果(優先度判定の結果)	I	特記事項	
事業進捗率	2016年度までの事業進捗率 60.1%	2017年度完了までの事業進捗率	60.9%
事業進捗率の算定式	[進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]		実施済み総事業費(億円) 24.233
延長	7,362m		

#### 4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)		必要である
	○	必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 □事業の主な目的を喪失した事業 □需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 □用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 □主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

#### 5 公共事業再評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	

様式③-2

平成30年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)：事業地区・箇所別概要(2)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名		
		林道事業	経ヶ峰線		
②事業担当室	室CODE	担当課	担当班	電話番号	
	100060	治山林道課	林道班	059-224-2574	
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町村字名	
	40	津・久居	郡部 一般	津市 美里町、芸濃町	

2 継続事業の重点化評価

(a) 事業の熟度 (A)

事業環境【全分野共通要件】

1	円滑な事業実施が可能な事業	1
2		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

(b) 事業の熟度 (B)

延伸可能性【全分野共通要件】

I	短期的に事業の延伸が困難な事業	1
II		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

(c) 事業の戦略性

【全分野共通要件】

1		0
2		
3		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

(d) 事業の緊急性

【全分野共通要件】

1		0
2		

(当該事業分野の事項)

I		0
II		
III		
IV		
V		
VI		
VII		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

【評価結果(優先度判定の結果)】

C	評価方法 A=0の場合：Dランク ・ A=1の場合：A+B×(C+D)により区分(3：Aランク・2：Bランク・1：Cランク)	1
---	--	---